

**ダイアボンド No.1663G**

ダイアボンドNo.1663Gは、電気・音響機器など小型部品の接着に開発した、初期接着性、糸切れの良いクロロプレンゴム系接着剤です。

## § 特長

1. 糸切れが非常に良く、乾燥が速いため、作業性に優れています。
2. 初期接着性、耐熱、耐水性に優れます。
3. 割合広範な材料に接着します。

## § 用途

1. スピーカのフレーム対コーン紙などの接着
2. 電気、光学、精密小型部品や工芸品の接着
3. その他 木材、金属、石材、ゴム、皮革の接着

☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

## § 一般性状

主 成 分	クロロプレンゴム
外 観	黄褐色
不 揮 発 分 (%)	33.0 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20°C	5,000 ~ 10,000
指触乾燥時間 (分) at20°C	2 ~ 4
粘着保持時間 (分) at20°C	10 ~ 20
保 証 期 間 (月) at25°C	8
引 火 点 (°C)	-17
発 火 点 (°C)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ、油などを除去し、汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布方法 刷毛などで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。  
塗布量は、片面当り 150~250 g/m<sup>2</sup> (両面で 300~500 g/m<sup>2</sup>) 塗布して下さい。
3. はり合せ 常温にて 5~10 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加 圧 はり合せ後、充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

はく離強さ (N/25mm)

		鋼板/Can	Can/SBR	CR/CR
常 態	1 時間	28	26	22
	24 時間	85	77	67
	48 時間	98	86	72
	96 時間	120	95	78
熱老化	70℃・96 時間	114	95	80
耐 熱	80℃	56	45	35
耐 寒	-20℃	92	80	72
耐 水	48 時間	78	66	58

Can : 綿帆布      SBR : スチレン・ブタジエンゴム板      CR : クロロプレンゴム

試験方法 : JIS K 6854 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	160 ~ 180 °C
3 日 目	200 °C 以上
5 日 目	200 °C 以上

被着材 : 鋼板/加硫天然ゴム/鋼板

試験方法 : JIS K 6833 に準ずる

## § 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中をよく洗い、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗って下さい。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）に該当

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。